

協力し合い 交流を深め合えた

松前小学校6年 山本万由さん

わたしが、一番心に残っていることは、まつまえ町の子もたちと一緒にいか飯と松前漬を作ったことです。なぜかという、まつまえ町の友達と協力し合い、交流を深め合うことができたからです。



北海道に行く前のわたしの目標は、「まつまえ町の子もたちと協力して、何かをやりとげたい」でした。そして交流を深め、仲よくなりました。次は、心に残っていることは、木べら造り体験です。初めは難しかったけれど、こつをつかんだら簡単にできました。出来上がった木べらは、家に持って帰りました。

函館山にも登りました。東京タワーより約1メートル高いことに驚きました。残念ながら、台風の接近で霧がかかって、山頂からは何も見えませんでした。

次に、まつまえ町の子もたちの「南中ソーランヨサコイ」を見ました。話を聞くと、わたしたちが来るためにたくさん練習したそうです。

愛媛に戻って、まつまえ町の子もたちと仲よくなれて本当に良かったと思いました。今度、まつまえ町の友達がまさき町に来るのがとても楽しみです。来たときは「とても楽しかった」と言ってもらえるようにしたいです。

まつまえ町に行ってもよかった

北伊予小学校6年 高市香乃さん

わたしたちは、まつまえ町でいろいろな体験をさせてもらいました。着くまでは、「まつまえ町はどんなところかな」と、どきどきしながら行きました。



最初に挑戦したことは、座禅を組むことです。いつたかかれるか、と思うととてもどきどきしました。

次に、いか飯を作りました。うまく作れるか不安でしたが、なかなか上手にできたと思います。

お昼ご飯は、アワビカレーを食べました。初めてアワビを食べました。とてもおいしかったです。

午後からは、松前漬、木べら造り、着付けなどを体験しました。中でも一

番楽しかったのは海鮮バーベキューです。ウニやアワビをたくさん食べました。すごくおいしかったです。

まつまえ町の子もたちが、「南中ソーランヨサコイ」を踊ってくれました。とても上手で感激しました。松前小学校の子も、岡田小学校の子も、みんなまつまえ町の子もたちと仲良くなれたので、よかったです。

2泊3日の訪問は、とても短く感じました。何もかもがすごく楽しかったです。まつまえ町に行ってもよかったです。まつまえ町の子もたちがまさき町に来た時は、みんなで歓迎し、楽しい時間をつくってあげようと思います。

大きく育った桜の木の下でお花見がしたい

岡田小学校6年 大政航誠くん

「緑一面の畑、青一面の海、白一面の雲！」

ぼくが思っていた通りの北海道。台風接近の中、まつまえ町に着いた時から雨だったけど、ぼくはウキウキしていました。



まつまえ町では、今まで食べたことのないおいしいウニやアワビなどの海鮮を食べたり、いか飯作り、松前漬作り、木べら造りなどを体験しました。中でも、藩屋敷での甲冑着付と桜の記念植樹が心に残りました。

甲冑着付は、いろいろな防具を手足に付けました。ぼくが剣道のときに付けている防具よりずっと重かつ

たです。「昔の人たちは、こんなに重い物を付けたり、着たりして戦っていたなんてすごいね」と友達と話しながら記念写真をとってもらいました。写真をとった後、付けていた防具を外すと、とても体が軽くなりました。

次に桜の木を植えました。桜は、まつまえの「町の花」だと教えてもらいました。20年後、20年後に大きく育った桜の木や満開の花の下でまつまえ町とまさき町の友達みんなでお花見をしたいです。

楽しい体験、思い出に残る経験、そしておいしいごちそうをいっぱい食べた北海道まつまえ町の旅でした。



四国から北海道へ 1500キロの距離を超えた友情



まさき・まつまえ姉妹都市提携20周年記念友好交流事業
友好深めて20年、節目の年に
まつまえ町で貴重な体験



5_まつまえ町の名物「いか飯」の手づくり体験 6_お殿様、お姫様、岡引きの衣装を身につけて時代劇気分=甲冑着付体験 8_まつまえ小6年生が「南中ソーランヨサコイ」を踊って歓迎してくれた 9_「またね」別れ際には再会を約束

1_まつまえ町にある第2桜見本園で行った記念植樹で、桜の木を協力して植えた 2.7_ホタテ、サザエ、アワビなど、北海道の海の幸を存分に味わった海鮮バーベキュー 3_緊張の対面式 4_法幡寺での座禅体験

本町と北海道松前(まつまえ)町は、南国と北国という異質の風土の中で城下町としての歴史と町名が同じ縁から平成2年11月2日、姉妹都市提携を結びました。以来、人の交流や物産交流などを続けながら友好を深めています。

本年度は、姉妹都市を提携して20年。この節目を記念して「まさき・まつまえ姉妹都市提携20周年記念友好交流事業」が行われています。

その一つとして、8月11日から13日まで、町内の小学生10人のほか、教員、商工会員など、合わせて19人がまつまえ町を訪問しました。

まつまえ町では、北海道ならではのさまざまな体験やイベントが準備されています。

ました。子どもたちにとっては「見る」「学ぶ」「遊ぶ」「食べる」など、何もかもが感動の連続で、生涯忘れられない思い出になったようです。

10月30、31日の両日に開かれる「まさき文化祭」には、まつまえ町の小学生がやってきます。今度は、「愛媛ならではの体験をしてもらいたい」「まさきらしいおもてなしで迎えてほしい」と、現在準備が進められています。

